

秋田の風

日銀秋田支店長コラム

県内各地で講演などをする
と、「他県と比べて秋田に何が
足りないか、盛り上げる起爆剤
はないか」といった質問を受け
ることがある。さまざま思い
からの質問だろうが、筆者は、
あえてその趣旨を単純化して捉
えた上で、「既に手元にあるの
ではないでしょうか」と答える
ことにしている。

他県でうまくいつている事例
があったとして、県内にそれを
移植できないか、他県との差を
補うためのヒト・モノ・カネ
を取り込めないか、と考えるた
くなる気持ちには分ける。付加価値
の高め方や効果的な情報発信の
仕方など、テクニカルな部分で
は外に学ぶところが多いのは確

講演で聞かれること

かだ。ぜひ研究して食欲に吸収
したい。ただ、他県の成功事例
をそのまま移植したり、専ら外
の力に頼って事業を始めたらし
ても、一時のブームが去って外
の関与が弱まれば立ち行かなく
なるのが常であり、持続可能で
ない。

これまでも書いた通り、秋田
には、他県ではあまり見ないよ

うなユニークな資源が多くあ
る。

例えば、観光資源。変化に富
む自然や温泉、奥羽山脈・鳥海



目の前の資源肯定を

山・白神山地に囲まれた土地と
いう影響もあるのか独自性が色
濃く残る数々の祭り、秋田犬に
秋田杉、豊かで希少な食材や食
文化と、枚挙にいとまがない。
観光資源とは異なるが、マタギ
文化など神秘性を感じさせるも
のもある。先日、ジュンサイの

摘み取り体験に参加したが、ど
こで知ったのか、遠く関西圏か

らもユニークな体験を求めて家
族連れが訪れていた。

風や地熱などの自然エネルギー
もそう。特に秋田沖で計画

が進む洋上風力発電は、浮体式
を含めて可能性は大きく、将来
を支える産業の一つとして大
切に育てたい。持続可能な社会
の実現という世界の潮流は、多
少巻き戻しがあつたとしても本
質的には変わらず、秋田に吹き

続ける風は非常に有利である。
ビジネスの裾野をできるだけ広
く捉え、発電だけでなく、発電
した電力の活用や蓄電、サービ
ス業や漁業など周辺産業の振興
にもつなげる構えが重要だろ
う。

人的資源にも触れたい。他県
出身の経営者などと話す、秋
田県民の忍耐強さが話題になる

ことが多い。バスの本数が減っ
た冬、始業に間に合わせるため、
新入社員が吹雪の中を1時間超

かけて歩いて出勤してきたそう
だ。東京なら、上司に休みの連
絡が入って終了だろう。最近、
賃上げを、コストではなく人へ
の投資だと前向きに捉える企業
が増えている。忍耐強さは、高
めの賃上げの理由にもできそう
だ。

こうした手元にあるユニーク
な資源こそが、最大の強みであ
る。磨きをかけ、したたかに活
用することが、秋田を持続的に
盛り上げていく道だろう。そし
てそうできるかどうかは、結局
のところ県民次第と筆者は考
えている。一人一人が目の前の
資源を肯定的に評価し、関与・
応援・発信することで、結果は
全く変わる。県民の前向きな応
援姿勢があれば、外のヒト・モ
ノ・カネも安心して集まりやす
い。

筆者も県民の一人として、微
力ながらこれまで秋田のユニ
ークな資源を応援してきたが、離
任することになった。名残惜し
いが、これからは関係人口の一
人として秋田推しを続けてい
く。毎回コラムをお読みいた
だき、ありがとうございます。
（片桐大地・日本銀行秋田支
店長）

〈終わり〉